



## 日本電通株式会社 (日本電通グループ)

IBM Silver Business Partner

所在地 » 大阪府大阪市港区磯路2丁目21番1号  
URL » <http://www.ndknet.co.jp/solution/tsunagu.html>  
お問い合わせ先 » [itsol\\_1@ndknet.co.jp](mailto:itsol_1@ndknet.co.jp)

### 「奉行」のワンストップサービスと、 さまざまなデータを繋ぎ活用する

日本電通グループは、2018年10月より、OBCの基幹業務システム「奉行 10シリーズ」をクラウド上で利用するマネージドサービス「NCMS for 奉行」の提供を開始しました。働き方改革推進やデジタルトランスフォーメーションの動きの中、基幹業務システムのあり方も見直されています。そこで日本電通グループは、IBM Cloud を活用した「NCMS for 奉行」をリリースしました。これは、IBM Cloud の基盤提供から、その上での奉行パッケージ及びソフトウェア運用、開発、障害監視、メンテナンスも含め、ワンストップで日本電通グループが担当するサービスです。

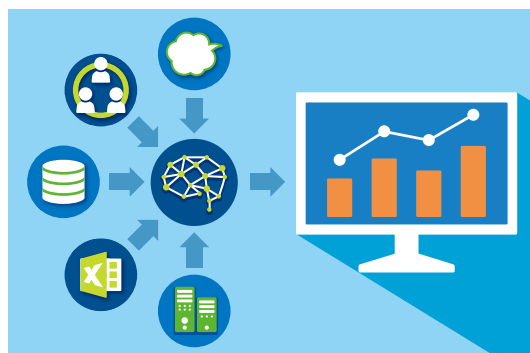
また、「NCMS for 奉行」とあわせて活用可能な「Tsunagu for 奉行」は、奉行シリーズと他のソリューションをノンプログラミングでデータ連携する製品です。例えば、販売管理システム「商奉行」のデータを「kintone」で使えるようにしたり、Excel で作られた伝票データを経理・会計システムの「勘定奉行」と連携したり— データ変換、転記、二重入力等の必要がないため、一層の業務効率化を図ることができます。「Tsunagu for 奉行」は、長年奉行シリーズを取り扱い、最上位のパートナー資格を持っている日本電通グループだからこそ実現した製品であり、中堅中小企業でも導入しやすい価格で提供していることも特徴です。

### 自分たちが購入できる価格帯で、 自分たちが使いたい製品を作る

日本電通グループ自身が個々には中堅中小企業でもあるため、自分たち自身が購入できる価格帯で、自分たちが使

たいと思える製品・サービスを開発・提供することを重視しています。そして、社内にあるさまざまな課題の多くは顧客とも共通であるはずと考え、「社内のショールーム化」を推進しています。現在もいくつかの製品・サービス開発が進行していますが、2019年4月より、RPA化対象の業務フロー可視化と稼働状況の一元管理によってRPAのブラックボックス化という課題を解決するRPA管理ソリューション「BPA1」と、画像AIを活用して紙の帳票から業務システムへの入力の全プロセスを自動化するソリューション「BPA2」を販売開始しました。これは残業が多くなると属人性が高いため有給休暇を取得しにくいという社内の課題を解決するためのソリューションの一つとして生まれたものです。

日本電通グループは、先進技術の取り込みでさらなる発展や課題解決が期待できる中堅中小企業のテクノロジー導入を積極的に支援していきたいと考えています。そのために、いろいろなメーカーの「サービス」という部品を組み上げて独自のソリューションを作る、言わば「ソリューションインテグレーター」として、これからも「変化の一步先」を意識したソリューションを生み出していきます。



Excellent Partner